

情報（所内研究報告：人口）

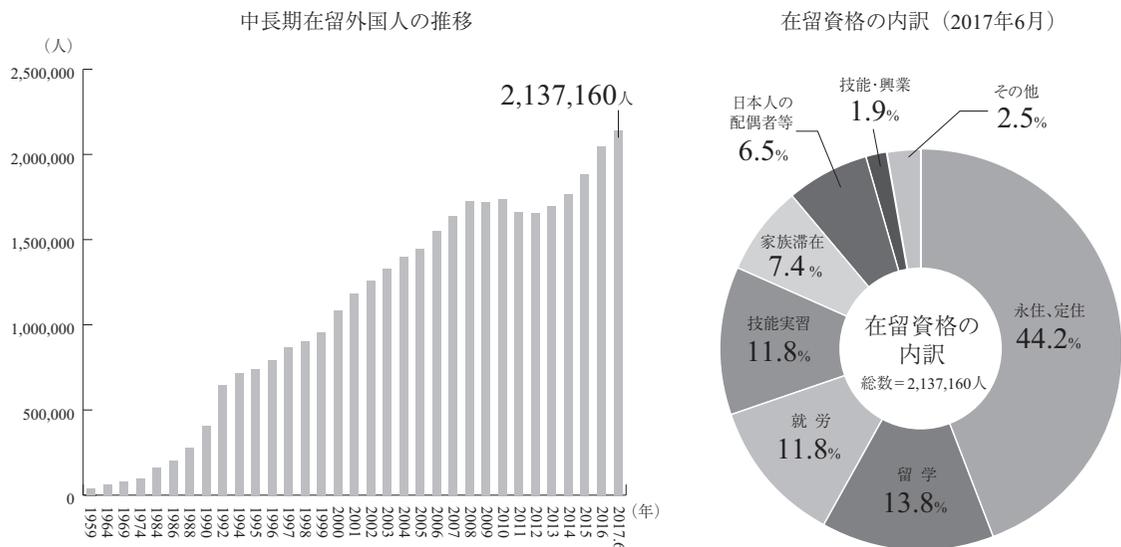
『日本における中長期在留外国人の移動過程に関する縦断調査』
について

是川 夕*

Ⅰ いま、なぜ日本で学ぶ留学生についての調査が必要とされているのか？

日本では1990年代以降、中長期にわたって日本に暮らす外国人人口が増え続けている。こうした人たちの多くが留学生として日本に来た後、日本で就職し、あるいはその後結婚して家族を持つなど、日本で中長期にわたって暮らすようになった人たちであると考えられる（図1参照）。

しかし、日本ではこうした人たちの存在についてあまり知られていないといえよう。メディアなどではまだに「外国人＝一時的に日本に滞在する人」ととらえる傾向が強く、学校、職場そして地域で同じ社会のメンバーとして暮らす外国人についてはよく知られていないのが現状である。このような問題意識から、2017年度から2020年度の4年間にわたって、日本で学ぶ留学生や元留学生の人たちへ継続調査を行うこととした。



出所：是川（2018）。

図1 中長期在留外国人の推移，在留資格の内訳

出身国を見ると、中国が最も多く、次にベトナム、ネパールなどが続いている。ベトナム、ネパールは最近、特に増えている送り出し国である。在留資格は留学が約94%を占めるが、中には定住者、永住者、日本人の配偶者等、家族滞在、ワーキングホリデーの人もいることが見て取れる(図4参照)。

性別を見ると、男性が189人、女性が151人、その他が2人であった。年齢を見ると、18～25歳にかけての人が最も多いが、20歳代後半～30歳代前半の人もいる(図5参照)。

現在居住している都道府県は東京都が最も多く、次いで福岡県、大阪府、愛知県などとなっている。留学生在学しているのは、東京のような大都市だけではなく、日本全国に広がっていることがわかる(図6参照)。

また、日本での居住期間を見ると、1年未満と来日直後の人が最も多いことがわかる。これは日本語学校が来日の最初の入り口となっていることを示すものといえる(図6参照)。

現在の日本語能力についてみると、日本語能力検定試験の級で3級から2級の人が多いことがわかる(図7参照)。

日本に来る前の学歴を尋ねたところ、高校が全体の40.5%と最も多かったものの、大学卒業、及び短大卒業程度の人それぞれ29.6%、7.9%いた。また、専門学校卒や大学中退の人もいるなど、全体的に学歴は高めといえるだろう(図8参照)。

また、父親の学歴を尋ねると、大学卒業が最も多く、それに次いで高校卒業、そして大学院修士課程と続く。全体として高学歴の父親を持つ人が多いことがうかがわれる(図8参照)。

主な収入源について尋ねたところ、アルバイトが最も多かったものの、家族からの仕送りと回答した人も4割程度いた。また、1ヶ月の収入を聞いた

ところ、0～19万円程度が全体の9割近くを占めていた(図9参照)。

毎月の家族への仕送りの有無、及び額を尋ねたところ、84.4%の人がしていないと答えた。また、している人の内、約78%は1～5万円の範囲であることがわかった(図10参照)。

また、毎月の経済状況について尋ねたところ、62%の人が普通と答えた一方、約25%に相当する人がどちらかというと苦しい(「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計)と答えた(図11参照)。

日本語学校を卒業後、どのような進路に進みたいか尋ねたところ、全体のおよそ半数超の人が日本の大学、大学院に進学したいと答えている。また、日本の専門学校に進学したいと答えた人も全体の約2割程度おり、日本で働きたいと答えた人も約16%いた(図12参照)。

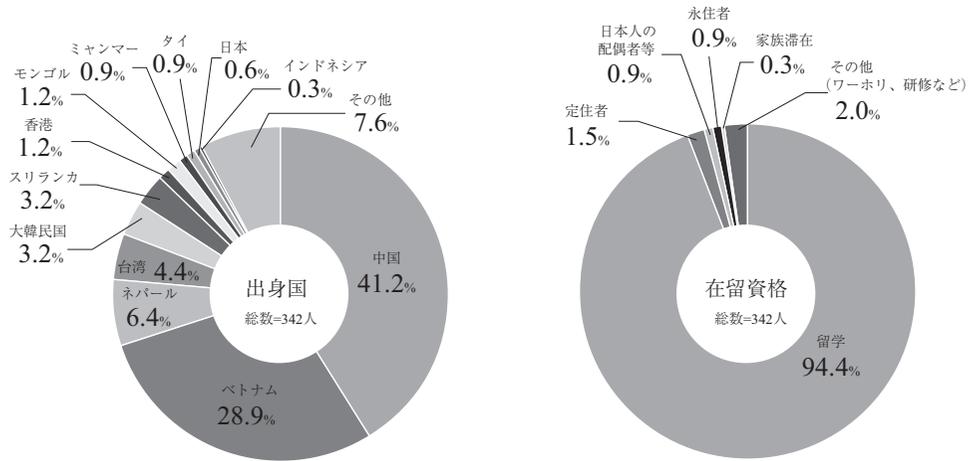
IV まとめ

こうした結果から見えてくるのは、日本語学校で学ぶ留学生の多くは、本人及び父親の学歴が比較的高く、しかも卒業後の進学・就労意欲も強い傾向にあるということである。経済状況についても、アルバイトをしている人は約半数にとどまり、その暮らし向きも60%超の人が普通と答えているなど、おおむね良好といえるだろう。今後の調査でこうした傾向がより正確に把握されることが期待される。

参考文献

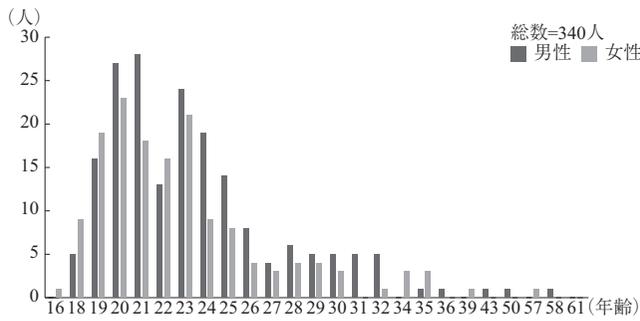
是川 夕(2018)『日本における中長期在留外国人の移動過程に関する縦断調査：調査の設計と第1回調査結果(2017年度)の概要』(<http://www.ipss.go.jp/projects/j/PSIJ/%E3%83%91%E3%83%B3%E3%83%952017.pdf>)(最終閲覧日：2018年12月10日)。

(これかわ・ゆう)



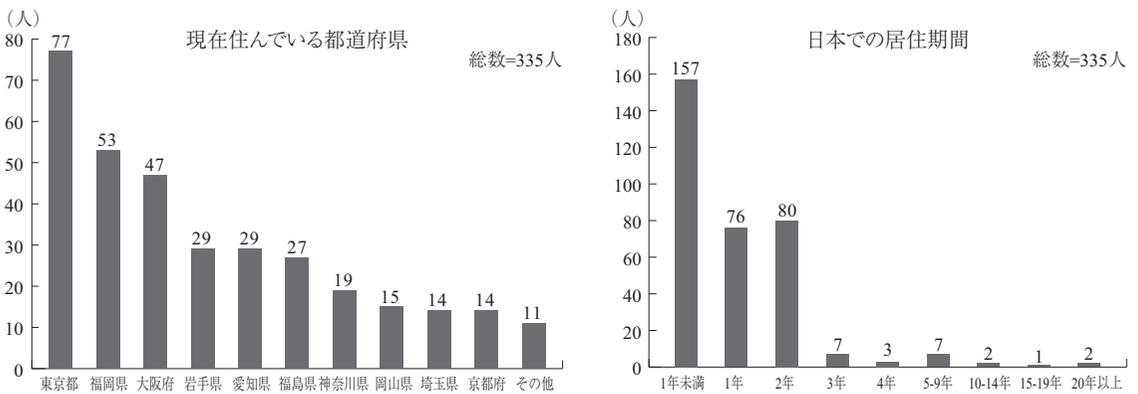
出所：是川 (2018)。

図4 出身国, 及び在留資格



出所：是川 (2018)。

図5 年齢, 性別



出所：是川 (2018)。

図6 現在住んでいる都道府県, 日本での居住期間

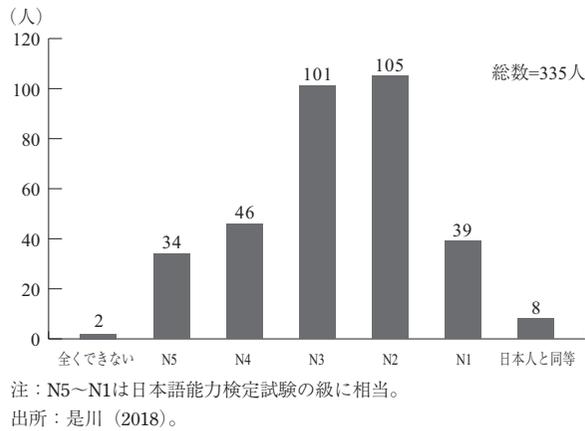
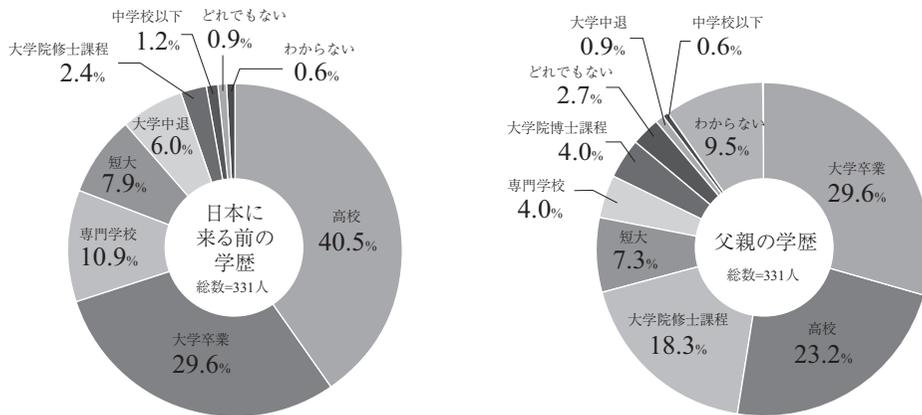
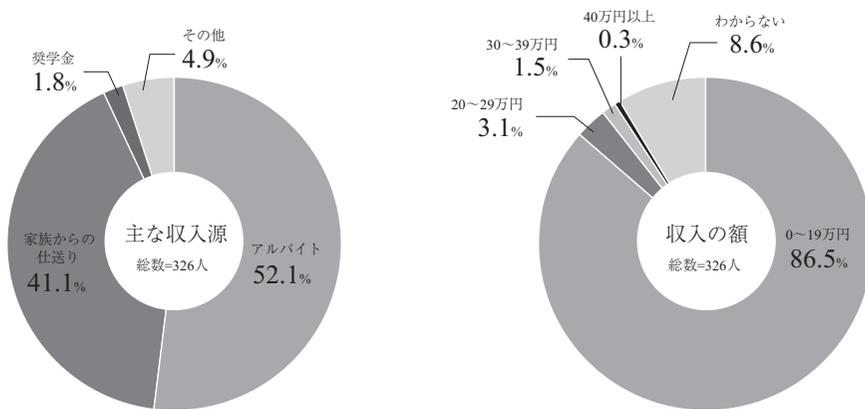


図7 現在の日本語能力



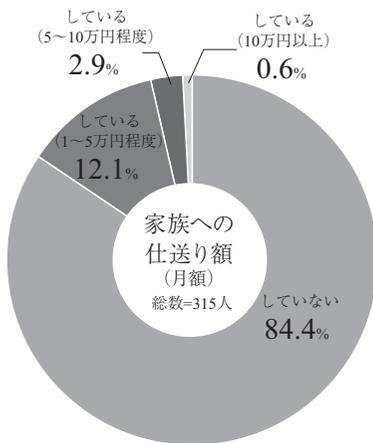
出所：是川（2018）。

図8 日本に来る前の学歴，父親の学歴



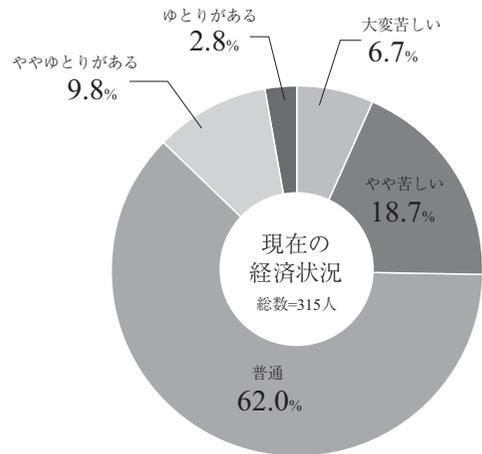
出所：是川（2018）。

図9 主な収入源，収入額



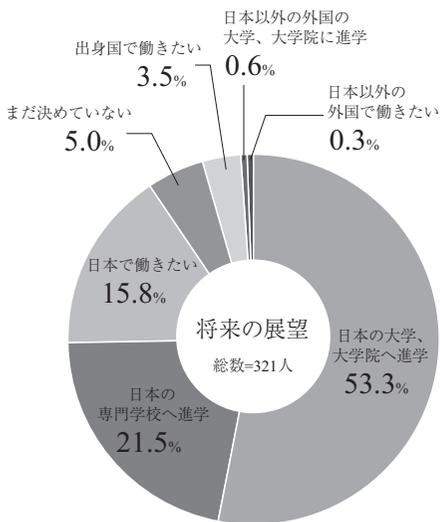
出所：是川 (2018)。

図10 家族への仕送り額 (月額)



出所：是川 (2018)。

図11 現在の経済状況



出所：是川 (2018)。

図12 将来の展望